

提言を
行動に移す

酪農乳業戦略ビジョン

「酪農乳業」は、しっかりと根を張る1本の木のように互いに支え合い、食生活に欠かせない牛乳乳製品を消費者に届けています。そしてこれからは「成長性」「強靱性」「社会性」の3つの戦略視点で力強く成長し、信頼される持続可能な産業を目指します。災害や感染症など予期せぬ事態も力を合わせて乗り越え、次の世代へと希望ある未来をつないでいきましょう。



Jミルクでは、わが国の酪農乳業が持続可能な産業構造を構築するための様々な課題や中長期的な戦略、政策的な取り組みについて約1年にわたり協議し、2019年10月18日の理事会で「提言」を決定しました。

冊子のダウンロードはこちら



Jミルクでは提言実行の一環として「酪農乳業産業基盤強化特別対策事業」を実施しています。
※事業内容はホームページに掲載 → <https://www.j-milk.jp/gyokai/seisankiban/2020.html>

力強く成長し信頼される持続可能な産業を目指し、 「酪農乳業産業基盤強化特別対策事業」を 2020年度～5カ年計画で継続実施



乳業者の皆さまへ

Jミルクでは乳業者が国産牛乳乳製品の高付加価値化を推進し、国際競争力のある持続可能な需要基盤の構築を目指す取り組みを「国産牛乳乳製品高付加価値化事業」として支援します。2020年度からは、人材育成への支援など乳業者が直接申請できるメニューや地域酪農と連携した商品開発等への支援など、新たなメニューも準備しています。ぜひ積極的にご活用ください。

※ Jミルクの一般拠出金と酪農乳業産業基盤強化対策金の支払実績がある乳業者が対象となります。
 〈一般拠出金と酪農乳業産業基盤強化対策金へのご協力、引き続き宜しくお願いいたします〉

メニュー	内容	助成上限額や主な対象者など(税抜)
1. 技術・人材開発のための研修等	① 品質改善・技術習得、人材開発のための研修会の開催など NEW! ② 若手役職員等対象の外部研修の参加や人事交流、単独の社内研修など	① 1乳業団体・地域乳業団体あたり200万円 ② 1乳業者3回/年まで、1回の研修期間は2日間まで 人事交流対象者5万円/人・月、1乳業者1人まで(12か月分、人事交流期間)
NEW! 2. 地域酪農と連携した商品開発等	① 地域の酪農家・酪農組織と連携し、地域の特性を生かした商品開発のための調査・専門家の現地指導、PR活動など ② 輸出に関する調査や輸出戦略の構築	1乳業団体・地域乳業団体あたり100万円 1ネットワーク組織あたり150万円 ※対象者：生産者と連携できる乳業
NEW! 3. 優れた事業成果の共有化	地域乳業の経営基盤強化に関する調査や、物流効率化、共同販売、共同PR、SDGsへの対応など乳業者が連携して創出する新たな活動	1乳業団体・地域乳業団体あたり100万円 1ネットワーク組織あたり150万円 ※対象者：2社以上の連携が図れる地域乳業
NEW! 4. 調査や指導等	乳業団体が行う調査、指導、ツールの提供など	1乳業団体あたり200万円 ※対象者：乳業団体

※その他、乳業団体を対象に、地域乳業における製品の高付加価値化を推進するための戦略方針検討推進等に対して助成。

● 事業の詳細は右のQRコードからご確認ください。実施要領や申請様式、Q&Aなどを掲載しています。

各事業ともWEBの活用など、オンラインでの取り組みも推奨します

j-milk 一般社団法人 Jミルク

《問合せ先》生産流通グループ
 Tel : 03-5577-7493 Mail : info@j-milk.jp

